



SESERAGI—MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2021～2022年度 RI会長 シェカール・メータ
RIテーマ 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブテーマ「会員の健康と地域リーダーの育成、
そしてロータリーの基本、規律を大切に」

会長 米山晴敏 幹事 仲原実圭

特別会報 (2)
2021.9. 10(金)

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL.055-976-6351 FAX.055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ

検索

例会場 呉竹

TEL.055-975-3210

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 米山晴敏君

今日は職業奉仕の話です。私がロータリーで未だに理解できていない言葉です。

『職業奉仕』という言葉は辞書にはありません、職業は生きるために所得を獲得する手段であり、自分のためです、奉仕とは自分以外の他人のためのものであるならば。

この正反対の言葉を合体させた大変奇妙なロータリー特有用語だと思います。

職業を通じて社会に奉仕するは『社会奉仕』かな？と思います。

分けるとすればロータリアン以外の方が受益者ならば社会奉仕、ロータリアン自身が受益者になる場合は職業奉仕となりますが両方の要素があり分けることはできません。

ヤクルトの関係者がヤクルト創設者代田博士の『健康を社会に奉仕』と予防医学・健腸長寿・がん再発防止・乳がん予防・インフルエンザ予防・新生児の腸内フローラ形成・喫煙やストレスによる免疫力低下改善などお客様の健康に携わっていることに誇りと自信を持っている話を読んだことがあります。これが職業奉仕か！

ヤマト運輸小倉さん、ヤマト福祉財団を創設し障害者自立支援をしていました。

クロネコヤマト宅急便はデパート配送の下請けから宅急便というどこにもなかった、サービスを始めました。『ダントツのサービス・サービスが先、利益は後』の絶対目標は『お客様の立場に立って考える、良いサービスの実行』をきれいごとではなく、

実践している、これが職業奉仕かと思いました。

自分自身の職業ではどうかと考えたことがあります。

1年間に100区画の分譲地の話があり作っています、しかしビジネスにならない相談がそれと同じくらいあります、相続絡み、借金絡み、借地権、無接道土地、中には土地絡みの離婚、土地に絡むあらゆる相談がきます、当然ながら、利益にはなりません。

ですから自分がやるしかありません。相談に乗っていると当事者になってしまうので悩み、ストレスがかかります、しかし、解決したときは分譲地が完売したときと同じくらい嬉しいですし、職業奉仕(自分的に)しているな、と自己満足しています。

職業奉仕はロータリアンの心の中にあるもの、概念はあっても形はない、が今のところの私の結論です。

おめでとう

会員誕生日	9月27日	米山晴敏君
	9月29日	高橋大輔君
入会記念日	9月16日	大庭靖貴君
	9月30日	藤川智徳君



幹事報告

幹事 仲原実圭君

①三島クラブ・三島西クラブの例会は9月いっぱい休会です。

委員会報告

直前会長 加藤正幸君

<合同事務所移転終了>

思い起こせば、昨年9月のヨーカドーにてポリオ募金の時に現状のクラブ事務所が使い勝手が悪いとの事で話が持ち上がり各委員長賛同の元、事務所移転を進める事になりました。

何度か4クラブ会長・幹事で会合を持ち、進めて行きました。

家主の小野建設様にも快く返却を了解いただきました。

次は移転先探し・・・

幾つかの候補があったのですが、それぞれに問題がありなかなか決められずにいました。幸いにも米山会長の共同開発様より良い案件をもらい理想の物件により各会長一致により決定しました。

荷物の移動を8月28日(土)に引っ越し業者に依頼し、前準備が出来ていたのでスムーズに移転が出来ました。その後は宇都宮両名様により収納作業を暑い中、大変な作業をしていただきました。両名様には、今回の引っ越しにあたり本当に世話になり感謝いたします。

設置作業も順調に進み、セコム・エアコン・ブラインド・コピー機・FAXなどの設置が済み、看板のみ近日中に取付が行われます。

今回の事務所引っ越しにあたり、伊豆中央RC前ガバナー補佐 長友様・三島RC前会長 中山様・三島西RC前会長 千葉様 皆様の協力により無事完了したことをご報告申し上げます。

尚、メンバー様より今回の案件に付いて私に一任を頂いた事によりスムーズに進める事が出来ました。

有難うございました。

皆様も近くにお越しの際は事務所確認をしてみてください。

(場所:三島市泉町9-8 高島テナント1F)

*ラクシエナ式場東通り沿いです

「新会員自己紹介」

高橋大輔君

皆さんこんにちは、新会員の高橋大輔です。

私は沼津市在住の47歳で、妻と小学2年生の娘の3人家族です。実家は函南にあり、いずれは帰らなければと思っています。大学からの10年間横浜に住んでおりましたが、28歳で地元に戻り、その時から今の会計事務所に勤めております。全6人の小さい事務所ですが、クライアントの力になるべく全員で頑張っております。

趣味はスポーツ観戦です。野球、サッカー、ゴルフ、テニス等々、週末はDAZNやWOWOWが寝かせてくれます。

つい数か月前までは、私みたいなものがロータリークラブに入会出来るなんて、思いもしませんでした。誘って頂いた米山会長、入会の為に尽力して頂いた藤川さん、ありがとうございました。そして、入会を承認して頂いたせせらぎ三島ロータリークラブの皆さん、ありがとうございました。これからよろしくお願ひ致します。

卓話

公共イメージ向上委員会 委員長 遠藤修弘君

コロナ禍で例会ができない状況の中、週報を通し公共イメージ向上委員会の卓話の機会をいただきましてありがとうございます。

ロータリーの公共イメージ向上とは・・・

「ロータリー」という名を知ってもらうことだけではなく、ロータリーの活動と社会におけるそのインパクトを理解していただくこと。そのためには、ロータリーについてどう伝えるか。が大切であると記されています。

2018年の調査ですが、ロータリーの認知度は、台湾90%、アメリカ50%、日本30%でした。日本では海外に比べるとあまり認知されていないようです。

そして、ロータリー聞いて何を連想するか?という問いには「社長さんたちの会合。秘密結社のようなもの。男性たちが集まって食事をしたり歌ったりしている。何も連想しない。予防接種を推進している国際クラブ。」

このような結果が出ています。

イメージとは、人びとがある事柄について見聞きしたことや想像に基づいて形づくられるものだと思います。

ロータリーについてどう語るかであり、逆にロータリーについて伝えない場合には、誤った情報に基づいてロータリーのイメージが形づくられてしまう可能性があると思います。

公共イメージ向上委員会としては、第1にクラブの奉仕活動の状況を工夫しながら、自信をもって社会に発信していくよう努めていきます。第2に、1つめ以上にもっとイメージ向上にインパクトを持つものがある考えているものがあり、そのことに取り組みます。それは、日常生活のなかで会員の皆さんが社会に与えるロータリーのイメージです。地域社会に身近に接してロータリーを表現できるのは会員の皆さんであります。

その手助けをするのも公共イメージ委員会へ与えられた役目だと理解しています。

国際ロータリーはマイロータリーの登録ここ数年重要視しています。

“ロータリーについて、理解を深め、そして行動を起こし、社会貢献する。そしてロータリーは、世界中の地域社会に変化をもたらす活動していく。”

マイロータリーは、その具体的な情報と意味のある活動の理解を得ることができるからです。それは、ロータリアンとして、その情報を共有し、地域社会に変化をもたらしてほしい。そう言われているんだと思います。

そこで今回、マイロータリーをアカウント登録し、ぜひ活用されることをお願いしたいのです。

これまで、マイロータリーについてお伝えしていたつもりですが、なかなか登録者が増えていません。そのため、今回もう一步踏み込んで、公共イメージ向上委員会がアカウント登録の済んでない方に、スタート時の手続きをして、登録しやすいようにしていきたいと考えています。

具体的には、次のようにしていく考えです。

①アカウント登録されていない会員に、公共イメージ向上委員会の方から、内容確認の連絡をします。(その後、国際ロータリーからメールが送られるように、公共イメージ向上員会で設定を行います。)